

臨床研究に関する情報公開について

当院では、みなさまにより良い医療を提供し、医学・医療の発展に寄与することを目的として、診療記録（カルテ）、検査結果、採取された検体などを用いた臨床研究を行うことがあります。

このような臨床研究を実施する際には、原則として対象となる方に研究内容を説明し、同意をいただいたうえで実施します。

ただし、患者さんへの侵襲や介入を伴わず、カルテの記録や検査結果などの診療情報や、診療の過程で残された検体のみを利用する研究については、事前に個別の同意を得ることが困難な場合があります。

そのような場合には、国の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、研究の目的や実施内容を公開し、患者さんご自身が診療情報や検体の利用を拒否できる機会を設けたうえで研究を行うことが認められています。この手続きを「オプトアウト」と呼びます。

当院では、このオプトアウトの手続きに基づき、以下の臨床研究を実施しております。研究への協力（診療情報や試料の利用）を希望されない場合は、各研究概要に記載された照会先までご連絡ください。

なお、研究への協力をお断りいただいた場合でも、患者さんが不利益を被ることは一切ありません。

また、これらの研究成果は学会や研究会等で発表されることがありますが、患者さん個人が特定される情報が公開されることは一切ありませんので、どうぞご安心ください。

藤原記念病院
病院長 白山 公幸

・「診療看護師（NP）による難治性褥瘡に対する陰圧閉鎖療法の導入とその結果」に関する研究（リンク）

・脳拡散テンソトラクトグラフィの描出に関する研究

・研究課題名「リハビリ目的で入院した患者に対する退院支援の取り組みと
在院日数の変化～病棟 FIM 向上の取り組みについて～」

・研究課題名「認知症マップを活用するためのスタッフの認識度調査と
今後の活用方法の検討」

・研究課題名「リハビリテーション科による積極的な
クッション挿入介入が褥瘡発生率に及ぼす影響」